

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ヒメジャノメ	タテハチョウ科	よく見る中型のジャノメ	x	○	○	全国

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
イネ、ススキほか						3~4			幼虫		



多摩川土手 (中野島) 6月10日 (2006年)



川崎市 6月8日 (2006年) アジサイにとまる



川崎市  
5月30日 (2019年)

典型的なジャノメチョウで、多摩川土手や生田緑地でよく見かけ、葉上にとまったり、コナラ・クヌギの樹液に集まりますが、花を訪れ吸蜜するところは見たことがありません。本種とよく似たジャノメチョウに「コジャノメ」がありますが、全体的にコジャノメは色調が濃いこと、斑文も少し違うことから区別できます。

身近なジャノメチョウたちの活動環境は、明るい所主体のヒメウラナミジャノメ、暗い所主体のクロヒカゲ・コジャノメ・サトキマダラヒカゲ・クロコノマ、そして明暗をそれほど気にしない本種ヒメジャノメ・ヒカゲチョウに分けられます。